



くりはら

市議会だより

第80号

令和6年2月1日

特集

議会報告会 市民から106件の声 2ページ

追跡 くりこま高原駅前駐車場 4ページ

視察報告 先進地に学ぶ 8ページ

一般質問 クマ・イノシシ被害など18人登壇 10ページ

「私もひとこと」

菅原 容子さん(志波姫)・若林 壮さん(花山) 20ページ

「新年の音」

(写真提供: 迫桜高校写真部)

特集

議会報告会に

106件の声

議会報告会に参加した人数

地区	会場	人数(人)
築館	市民活動支援センター	7
若柳	若柳総合文化センター	13
栗駒	栗駒総合支所	18
高清水	高清水総合支所	11
一迫	一迫総合支所	7
瀬峰	瀬峰総合支所	7
鶯沢	鶯沢振興センター	8
金成	金成総合支所	8
志波姫	この花さくや姫プラザ	8
花山	花山石楠花センター	11
計		98

11月6日、8日および13日の3日間にわたり、市内10地区で議会報告会を開催しました。議会報告会には98人が参加し、106件に及ぶ意見や提言が寄せられました。主な内容を掲載するとともに、市のホームページには報告書など、すべて公開しています。

デマンド交通とタクシー助成

問 乗合デマンド交通からタクシー利用助成に替わるが、乗合デマンド交通よりタクシー利用助成は市民の得になるのか。

答 乗合デマンド交通は当初の計画より伸び悩み状態である。タクシーを利用した場合は一定の負担はあるものの、いつでも、だれでも、どこへも行く便利な公共交通機関の一つになるのではないかと。また、市の財政負担も軽減され、持続可能な交通手段になると思う。

防災無線が聞き取りづらい

問 防災無線が聞き取りづらい。音量を上げて繰り返し放送するか、聞き取りやすいようにしてほしい。

答 聞き取りやすくなる方法があるのか、その辺も含めて当局に伝える。今の女性の音声は、AI音声だと思うので聞き取りづらいのかも知れない。

キャンプ場計画どんなものなのか

問 市が計画しているキャンプ場は、オートキャンプ場か。

答 キャンプ場の建設予定地を調査した結果、令和4年度に敷地の測量を終えている。しかし、具体的な計画は、まだ決まっていない。なお、市はモニターキャンプを実施しようだ。

市民の声を吸い上げてほしい

問 議員は市民の意見聴取が必要だと思うが、誰に言ったらいいかわからない内容もある。議員側から市民の声を吸い上げるようにしてほしい。

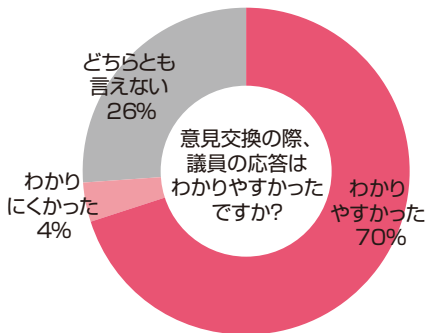
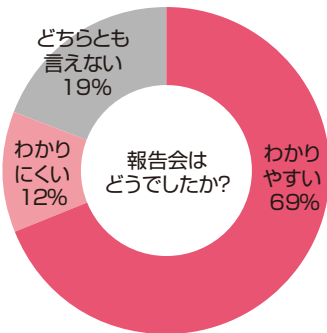
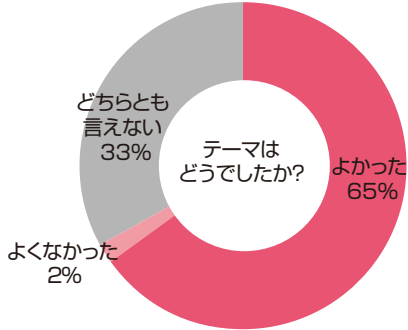
答 議員活動しながら意見を集め、良い栗原を作っていくのが議員だと思っっている。



聞きやすい防災無線に

参加者アンケート

議会報告会に参加した皆さんからお聞きしました。



参加者の声

この今野 やす子さん (栗駒)



私は議会報告会への参加は初です。議会傍聴は数回しましたが、報告会で地域の方々からの意見交換はどのようなものかと思い、参加しました。地域の方々の意見が100%反映されないながらも、貴重な数々の意見ですので議会で、十分に審議していただき実りあることを願っております。参加したことは良かったと思い、再度参加したいと思いました。

女性参画の時代と言われる中、女性の出席が少なく残念でした。



熊の好物 柿の実を除去

熊を見かけた際の対応方法は

問

熊の出没が多くなっている。近隣でも

出没した際には市に連絡を入れるなどおこなっているようだ。熊を見かけた際にどのように行動したら良いか。どこに連絡を入れたら良いか、対応方法など周知してもらいたい。

答

熊を見かけたときは総合支所に報告するようにしてほしい。突然出会った際には目を離さず後退りが良い。熊を寄せ付けないために

学校の書類など活用してほしい

は、食べ物を隠すなどの対策が必要。熊の罝設置については県の許可が必要となっており、市ですぐに設置できない部分であり苦慮している。

問

学校の所蔵品以外の書類関係・公簿なども保管し、活用してほしい。

答

統合した学校の一部に引き継がれている。資料などはデータ化を行い保管している。



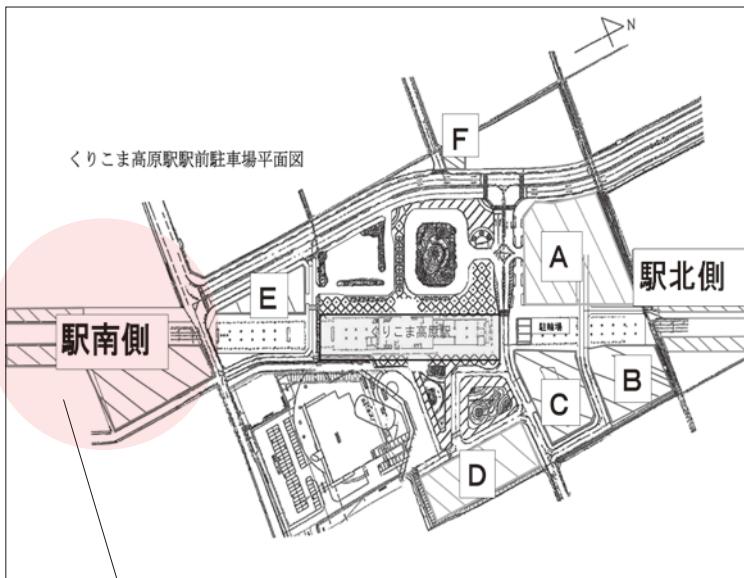
令和5年度 議会報告会開催状況

その後どうなった!?



405万円の黒字

本会議前に市長が「提案内容が不十分でさらに詳細な検討が必要」として「撤回」しました。



無料のままの南側駐車場

管制機器の更新 管理業務の一本化

駐車場管制機器の更新に併せて、新しい機器の設置と現金回収業務、警備業務などを一本化することになり、市からはそれに伴い、料金の値上げの提案がありました。付託された総務常任委員会では無料で利用率が高いなどのことから全会一致で「否決」となりました。

その後、市長は本会議直前に「提案内容が不十分でさらに詳細な検討が必要」として撤回しました。また、くりこま高原駅前広場総合管理業務は「三井不動産リアルティ東北(株)」と契約し、年間1186万円の管理委託となっています。

当初の計画は、駅南側駐車場の234台分の無料駐車場を月極153台と無料分81台に分ける提案でしたが、現状のまま234台を無料分としています。

B、E駐車場はこれまで月極・時間貸しが混在していましたが、改正案のとおりすべて時間貸しとし、こちらも分かりやすくなりました。

月極・時間貸しの台数変更

市提案の改正案

(単位：台)

駐車場	A	B	C	D	E	F	駅北側	駅南側	合計
時間貸	185			113					298
月極		69	81		15	7		153	325
無料等		15			5		79	81	180
合計	185	84	81	113	20	7	79	234	803

現在

(単位：台)

駐車場	A	B	C	D	E	F	駅北側	駅南側	合計
時間貸	185			113					298
月極		84	81		20	7			192
無料等							79	234	313
合計	185	84	81	113	20	7	79	234	803

追跡

くりこま 高原駅 駐車場 料金引き上げ撤回。 値上げしなくても



令和3年9月議会において市は、くりこま高原駅の駅前広場駐車場の料金を引き上げる条例を提案し、総務常任委員会において、全会一致で「否決」した後、



今も変わらず無料の駐車場

当初予算は「赤字」の計画
決算では「黒字」の報告

令和3年9月に提案された使用料金改定と無料駐車場153台分の有料化を「撤回」しましたが、令和4年度分の決算が9月決算議会で明らかになりました。当初予算では収入見込み額が1005万円、支出見込み額が1206万円で

差額が200万円の赤字となる計画でした。しかし決算では、収入額1656万円、支出額は1250万円、差額は405万円とプラスになっています。値上げをしなくても予算より黒字になっているということなのです。

駐車場管理の契約については、管制機器を含む管理料のなかに「駐車券発行機」「料金精算機などの駐車場管制機器設置」「新紙幣および新硬貨、クレジットカード、電子マネー対応」がすべて入っています。また防犯カメラ22台の設置も委託料の中に含まれています。

委託料のほかに、水道、除雪、駐輪場賃借料など別経費はかかりますが、令和4年度は405万円の黒字になりました。令和5年度の収支見通しですが、新型コロナウイルス感染症が5月に2類から5類へ変更されたこともあり、昨年度よりは収入が上昇傾向にあります。

黒字とはいえ、決算後は一般会計に入るため、黒字分を毎年積み立てることはできません。駅前の駐車場舗装や歩道、フェンスの修繕など、この先に修繕費がかかります。大規模な修繕の場合は、改めて議会で審議することになります。

駅前広場 収入支出額（平成30年度～令和4年度）

（単位：円）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入額	29,585,650	27,604,215	10,779,856	11,435,556	16,561,610
支出額	9,180,118	14,868,589	9,155,127	8,506,391	12,503,360
差額	20,405,532	12,735,626	1,624,729	2,929,165	4,058,250

決まりました



12月の定例議会では市長・副市長の給料を減額する条例、議員、市職員の給料及び期末手当等を引き上げる条例を可決しました。さらに、公共施設の管理・運営を民間事業者に任せる「指定管理者」の指定も可決しました。

予算関係では、住民税非課税世帯等に対する物価高騰重点支援給付金にかかる予算などを盛り込んだ補正予算の専決処分や議案が提出され、議会は原案のとおり承認、可決しました。

市長 期末手当 引き上げ

0.1月分

令和5年人事院勧告に基づき、国の特別職の給与改定がなされました。国の改定に基づき、市長・副市長・病院事業管理者・教育長の期末手当の支給率を年0・1月分引き上げ3・4月分にしました。

令和5年人事院勧告に基き、特別職の状況に応じて改定してきました。

今回、期末手当の支給率を市長などと同様に0・1月分引き上げ、年3・4月分としました。

議員1人あたりの引き上げ額は約4万6000円で、これまで市議会議員の報酬や期末手当は市長など常勤特別職の状況に応じて改定してきました。

職員給与を引き上げ

令和5年人事院勧告に基づき、市職員の期末手当、勤奨手当を合わせて0・1月分引き上げ、給料については、初任給大卒1万1000円、高卒1万2000円引き上げました。

また、会計年度任用職員についても、同様に引き上げ、令和6年度から勤奨手当が支給されます。

市長 給料10%カット

「交通安全週間」期間中の9月22日に職員が酒気帯び運転で検挙されました。事態を重く受け止めた市長および副市長は、監督責任を取るとして、月額給料の10%をそれぞれ減額しました。

なお、給料の減額期間は、市長および副市長ともに令和6年1月1日から同月31日までの1か月間です。

指定管理者が決定

指定管理者の新たな指定や、期間満了に伴い、13施設の新指定管理者が決定しました。

新たに指定する施設

施設名

築館有機肥料センター

栗駒有機センター

金成有機センター

指定管理者

有限会社アグリテック宮城

指定管理料

9275万円
(3年間の合計)

施設名

栗原市志波姫公民館

指定管理者

しわひめスポーツクラブ

指定管理料

4065万円
(3年間の合計)



公民館は社会教育の拠点



※指定管理者制度
公の施設（公民館など）の管理を企業や法人などに任せる制度

こんなことが



燃料の購入にも使える商品券

3,000円の商品券 市民全員に配布



商品券の利用を期待する商店街

エネルギー・食品価格などの物価高騰に伴い、家計での負担が増加していることから「生活応援商品券」を全市民に配布することで市民生活の支援をします。

対象者
市民 約6万2000人
(見込み)

商品券
市民1人あたり3000円

利用可能期間
令和6年5月31日まで

スケジュール(予定)

令和6年1月下旬
商品券準備および参加店舗とりまとめ

令和6年2月下旬
商品券封函および発送

令和6年3月中旬
商品券の配達が完了

物価高騰に7万円を支給 住民税非課税世帯が対象

エネルギー・食料品などの価格高騰による負担が増えていることを踏まえて、特に家計への影響が大きい低所得者世帯(住民税非課税世帯)に対し、1世帯あたり7万円を支給します。

対象者

令和5年12月1日時点で、栗原市に住居登録がある世帯で、世帯全員の令和5年度の住民税が非課税の世帯が対象です。
(住民税が課税されている人の扶養親族のみで構成する世帯を除きます。)

想定世帯

7050世帯

支援金

1世帯あたり7万円

実施期間(支給開始)

令和5年12月下旬から

なお、物価高騰による7万円の支給は、11月30日に市長が※専決処分しました。12月定例議会で、議会は専決処分を承認しました。

表彰



菅原 勇喜 議員

令和5年度、総務大臣感謝状の贈呈式において、地方議会議員として、永年地方自治行政に貢献された功績により、菅原勇喜議員に感謝状が贈呈されました。

請負契約

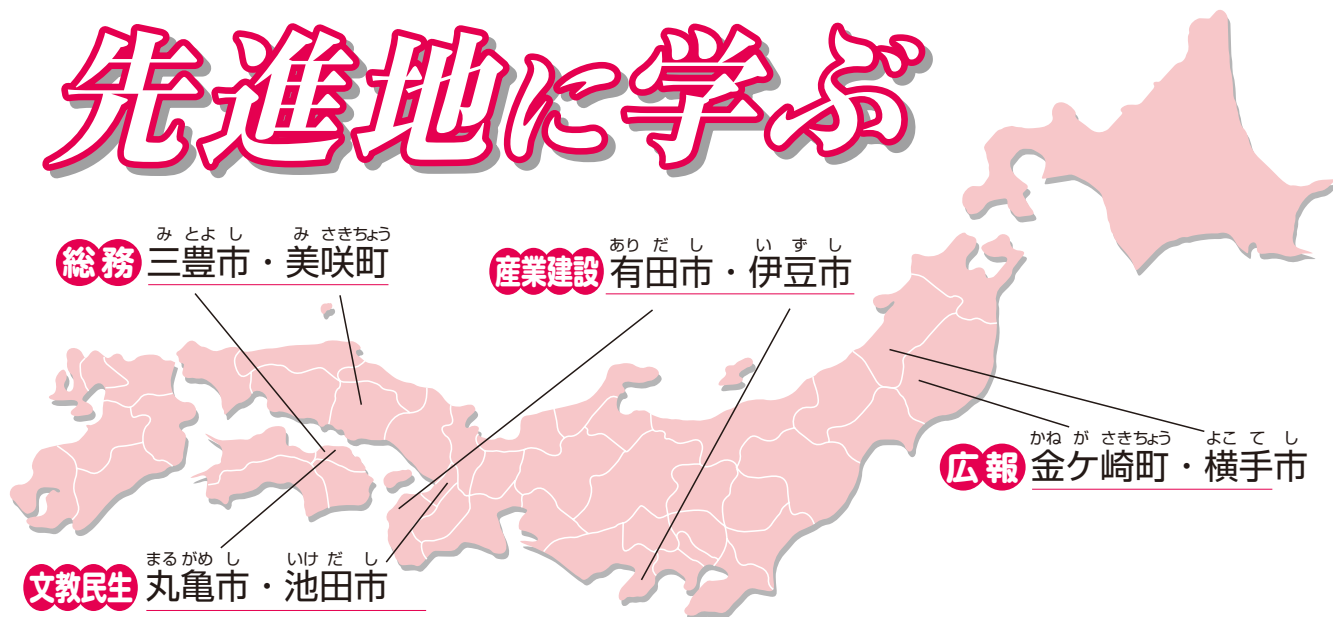
次の2件の工事について議会は原案の通り可決しました。

工事名	栗原市防災行政無線設備中継局更新工事
金額	2億680万円
相手	株式会社 有電社東北支店
金額	2億1758万円
相手	上田建設株式会社

ひとくちメモ

(※) 専決処分とは、予算や条例などを、首長が議会の議決を経ずに自らの権限で決めることをいいます。地方自治法で定めており、緊急時で議会を招集する時間がない場合などに、専決処分が行われます。なお、処分後には、次の議会で報告して承認を求めする必要があります。

先進地に学ぶ



総務 持続可能な地域公共交通

10/23 ~ 25



デジタル化先進地を調査

ら他自治体と連携を取り、国に対して、強力な財政支援の要請に努めます。

デジタル化の必要性

香川県三豊市では、文書の電子決裁、会議は原則として、ペーパーレス化を実施しています。全庁舎で紙文書量の削減目標を30%に定め、削減されたスペースをフリーアドレス導入によって、さまざまなエリアを設け、職員間のコミュニケーション促進に努めています。また、窓口で死亡後の手続きをデジタル化によって短縮し、市民の満足度の向上につなげている状況にあります。

調査の結果

本市でも、市民や職員が一番恩恵を感じられるものは何かを考えながら、事業構築を進め、人的コストの最適化も図ってほしいと望みます。

調査の結果
本市でも、来年度からタクシー助成が始まることか

産業建設 魅力あるキャンプ場へ向けた分析

10/31~11/2



伊豆市のキャンプ場を調査

静岡県伊豆市では、委託や市直営により運営してきたキャンプ場を、令和4年度から指定管理者による運営にすることを機に、キャンプを入り口としたアウトドア事業者と地域の新たな事業の創出と、人材のマッチングを通じて、移住・定住につなげ、人口減少対策、地域活性化に取り組みこととしていきます。

調査の結果

今後、伊豆市のように事業の目的を明確化するためにも、具体的な事業化の検討を進めるとともに、事業の採算性や継続性をしっかりと

持続可能な農業政策の推進を求める

和歌山県有田市では、価値ある土地と農家の誇りを未来に残すため、新規就農者、農地提供者、受け入れ農家がそれぞれメリットを享受できる就農モデルを立ち上げている。このような取り組みが日本の農業が直面する課題への対応のモデルとなりうるものとして高く評価され、第7回プラチナ大賞などを受賞している。

調査の結果

市内における荒廃農地の増加が懸念されている中、策定作業を進めている人・農地プランにおける地域計画が地域農業の維持、発展につなげられるよう関係機関との連携を密にして、持続可能な農業および農村地域につなげていく農業政策の推進を求めます。



子育て先進地を調査

調査の結果
本市においても、不登校児童・生徒や保護者への対応を学校という枠にとらわれないこと、社会的自立

を十分意識しながら、子どもたちが安心して暮らせる居場所の確保などに努めてほしいと考えます。

一元的に「まる育サポート」事業
香川県丸亀市では、妊娠期から概ね18歳までの子育てに関する相談を一元的に受け付け、支援する子育て支援総合相談窓口を設置し、子育て家庭の支援と子どもの健全な育成を図ることを目的として、「まる育サポート」事業を平成28年度からおこなっています。

調査の結果
本市においても、子育て支援に関する相談を一元的に受け付けることや、組織横断的な体制を構築することは、市民にとっても分かりやすく、安心して子育てができるのではないかと考えます。さらなる子育て支援の充実と市民サービス向上のため、包括的な支援を望むものです。

文教民生

不登校児童・生徒への「支援体制」

11/15 ~ 17

**編集に活用
市民の提案**
秋田県横手市の議会だより「あなたと市議会」は、住民の興味を引き出す漫画形式の特集記事、表紙は市内中学校の生徒の絵画を採用しています。また、市民の声を聴き、市民に寄り添った紙面を目的に、令和2

岩手県金ケ崎町の議会が発行する議会だよりは、「ありのままに解りやすく」「議員の力で」「スピード発行」をモットーに編集しています。全国町村議会議長の広報コンクールで18年連続、岩手県町村議会のコンクールでは、16年連続「入賞」の実績ある議会だよりです。

議会だよりの特徴は、表紙のシリーズ化とともに町民が主役のページを設けていることや、議会の提言を町はどう取り組んだのか「追跡」記事などで、町民の興味を引き出し、読んでもらう編集をしています。

広報

住民参加型の「議会だより」

10/11 ~ 12



読んでもらうための工夫を学ぶ

年3月からモニター制度を導入しています。モニターは、一般から意見を聞く「議会だよりモニター会議」と、高校生のモニターも募集し、「高校生議会だより懇談会」を設けて、提案されたアイデアを編集に生かすことで、住民参加型の議会だよりとなつていきます。

調査の結果
両議会とも住民の目線で編集している姿勢が印象的でした。今後、市議会だよりの編集にあたり、市民により一層「親しまれ」「読みやすく」「分かりやすい」紙面づくりに努めていきます。

議会改革

タブレット導入でペーパーレス化

10/11 ~ 12

議会は、議案書や議会関係資料などを電子データ化し、ペーパーレス化を推進するとともに、議員と事務局との通信連絡手段として活用するなど、議会運営の効率化や議員活動の活性化を図ることを目的にタブレット端末を11月に導入しました。

12月5日には、タブレット端末での基本的操作

(カレンダー機能およびチャットツール機能、ペーパーレス会議システムなど)の研修を行いました。

今後、本会議や委員会などで本格的に運用していくために、12月定例議会では、本会議の最終日、総務常任委員会で試行的に運用しました。



タブレット基本操作の研修風景

12月定例議会では18人の議員が登壇し質問を行いました。



あべ さだみつ
阿部 貞光 議員



クマ・イノシシから市民を守れ 市長／確認し権限として執行



遅すぎる設置許可 宮城県

議員 今年にはクマに襲われけがなどをする被害が急増している。市内においても目撃情報や作物への被害が多い状況である。市が保有するクマ捕獲器の台数は。また、捕獲器設置状況と被害状況を聞く。

市長 ドラム缶式2基、箱罾5基、計7基で猟友会が保有する20基を含めると27基となる。県知事から市全体で79件の捕獲許可を受け、61頭を捕獲している。栗や柿のほか、倉庫に保管している米、家畜飼料などの被害が多い。

議員 県はツキノワグマの生息頭数を推定する為、県内を5地区に区分し50台規模のカメラトラップ調査を毎年度実施している。市への設置を要望し生息数を把握し対策を講じるべき。

市長 栗原市と大崎市は令和4年度に調査が行われ、2市の調査結果で515頭、県全体で3542頭の推定生息数で、次回は令和9年度に調査予定である。

議員 栗原市鳥獣被害防止計画に許可権限委譲事項があるが想定される権限は。

市長 1つは鳥や小型獣による被害がある場合に、計画を立て捕獲する予察捕獲の許可、2つはツキノワグマが生命や財産に被害を及ぼす恐れがある場合の緊急捕獲の許可が権限委譲されている。

議員 先日、幼稚園バス停にクマが出没し園児に被害を与えては困る事から、総合支所長が県に出向き罾の設置を依頼した所、自主防除を要請されている。人命とクマどちらを守らなければいけないのか疑問である。

市長 宮城県と確認し市長権限として執行していく。



パートナーシップ制度導入せよ

市長／令和6年度導入に向け作業進める



すがわら まき
菅原 麻紀 議員

議員 パートナーシップ制度とは、同性同士のカップルが、婚姻に相当する関係性を認め証明書を発行する制度だ。仙台市が来年度中に導入する方針を示した。市は導入する予定はあるのか。

市長 全国的にも制度導入に向けた動きが加速している。このような動向を踏まえ令和6年度中の制度導入に向けて作業を進め、市民や職員に向けた研修会を開催し理解と普及に努めたい。

議員 窓口対応について繊細な相談など共通認識としてできる研修を行うのか。



誰もが住みやすい栗原市に

市長 市役所はさまざまな個人情報を取り扱っている。丁寧な対応を心がけること。

議員 市が合併して20年近くなるが、個人や任意団体所有の文化財をまとめて展示できないか。また、旧町村史は昭和50年前後の編さんで止まっている。歴史愛好者を巻き込んだの取り組みは考えているか。



不登校支援策の拡充を

教育長／居場所と学びの保障を推進する



さとう 悟 議員
さとう 佐藤 議員

議員 不登校の増加傾向がみられる。
①実態はどうか。②要因はなにか。③「校内・校外適応教室」、指導員増員など支援拡充が必要ではないか。
教育長 ①令和4年度末で小学生25人、中学生68人、



子どもの居場所と学びの保障を

令和5年10月31日現在で小学生21人、中学生61人。
②生活リズムの乱れや、友人関係、学業の不振、家庭の生活環境の変化などがある。③「学び支援教室」（築館小）ほか、小学校5校、中学校6校、義務教育学校1校の別教室で1人1人に応じた支援を行い、全学校に学校補助員を配置している。令和6年度より「けやき教室」「子どもの心のケアハウス」を1つの組織

に再編し、居場所の確保と、学びの保障を推進する。

議員 中学校部活動の環境整備が急務である。

①部活動数はいくつか。②教員の労働時間数はどうか。③外部指導者の導入についてはどうか。④地域移行の検討はどうか。

教育長 ①運動部、文化部の順に築館11、3、若柳11、3、栗駒9、2、栗原西7、2、栗原南8、0、志波姫8、2、金成小中7、1である。②教育委員会の「部活動方針」で平日2時間・休業日3時間程度、休業日は、週2日以上で従事している。③外部指導者（教員の技術指導などを補充し、教育長と学校長が委嘱する者）を導入している。④令和5年10月13日「市部活動地域移行推進協議会」を設置し、先進事例を参考に充実した活動ができるよう模索している。

除雪や凍結防止剤の散布基準は

市長／各委託業者の判断で作業を実施



ちかづみ 千昭 議員
さとう 佐藤 議員



作業効率のよい除雪ドーザー

議員 積雪量は標高によって大きく異なる。雪が降ると公道道路まで遠く、また、狭くて坂道やカーブの多い道を生活道路として利用する市民は大変である。市の除雪や、凍結防止剤の散布基準について聞く。

市長 特定の基準を設置せず、作業路線の積雪量が概ね10センチメートルを計測した場合に各委託業者の判断で作業を実施する。凍結防止剤の散布は、路面が凍結している場合、または凍結の恐れがある場合にスリップ事故が予想される坂道、交差点、日影道などを中心に散布している。

議員 除雪オペレーターの確保や、除雪完了時間などの目安があれば聞きたい。

市長 作業員の高齢化などで委託業者からは「オペレーターの確保に苦慮」と何うが、市外の建設会社委託などで体制の維持を図っている。除雪は原則、通勤、通学時間まで完了することとしている。

議員 ローター除雪車で除雪を望む声があるが。

市長 除雪効率の良いドーザー除雪が基本で、除雪量の多い地区では、除雪作業で路肩に堆積した雪の影響で車道の幅員が狭隘となった場合に、ロータリー除雪車で作業をしている。

議員 強風と吹雪、吹きだまり対策の検討を。

市長 国県道などでは、防風ネットが設置されている必要であれば、市道でもそういう装置が必要だと思う。

◎その他の質問

①有害鳥獣対策について
②市の林業振興対策は。



相馬 勝義 議員



熊の被害対策

市長／被害防除と捕獲に取り組む



図書の活用が期待される小学校

議員 熊の被害について毎日のように報じられ、市民は不安と恐怖を感じているが、具体的な対策は。

市長 国においても、検討していることから、動向を注視し、あらゆる機会を通じて、対策、要望する。

一級河川などの管理について

議員 河川管理者である県は、土砂撤去、支障木伐採などおこなっているが、異

議員 市における家庭教育の推進の一つとして、書籍の活用も徳育支援につながると思うがどうか。

教育長 学校では、読書の時間を設定し、中学生の読書好きは全国平均レベルである。また、親子のコミュニケーションで徳育を支援する事業も行い、図書館活用も充実させていく。

議員 グローバル人材の育成を目標にした教育展開をどう考えているか。

教育長 市でも、グローバル人材を育てる教育で幼児期を含めた教育全般に推進していく。特に英語教育の充実を目指し、ALTの配置にも力を入れている。市としては、ふるさとを愛し世界に目を向ける子どもたちを育成していきたい。

常気象を鑑み落堀川、熊谷川上流の防災のため、さらなる働きかけを。

市長 落堀川の土砂堆積や熊谷川の支障木、のり面の状況は、市で認識している。現場状況を確認しつつ、随時、県にも要望していく。

家庭教育推進と人材育成

議員 市における家庭教育の推進の一つとして、書籍の活用も徳育支援につながると思うがどうか。

教育長 学校では、読書の時間を設定し、中学生の読書好きは全国平均レベルである。また、親子のコミュニケーションで徳育を支援する事業も行い、図書館活用も充実させていく。

議員 グローバル人材の育成を目標にした教育展開をどう考えているか。

教育長 市でも、グローバル人材を育てる教育で幼児期を含めた教育全般に推進していく。特に英語教育の充実を目指し、ALTの配置にも力を入れている。市としては、ふるさとを愛し世界に目を向ける子どもたちを育成していきたい。



「頭上注意」を知らせる出入口

議員 鷹沢地区、「細倉公民館」の軒天の一部、コンクリート片が崩落した。修繕はいつ実施するのか。

教育長 現在、軒天を修繕する手法を専門業者と協議しており、できるだけ早く

議員 鷹沢地区、「細倉公民館」の軒天の一部、コンクリート片が崩落した。修繕はいつ実施するのか。

教育長 現在、軒天を修繕する手法を専門業者と協議しており、できるだけ早く

議員 鷹沢地区に冷房設備を令和6年度に設置したい。

市長 大規模な修繕計画はないが、真夏の避難に備えて、鷹沢地区に冷房設備を令和6年度に設置したい。

議員 鷹沢地区、「細倉公民館」の軒天の一部、コンクリート片が崩落した。修繕はいつ実施するのか。

教育長 現在、軒天を修繕する手法を専門業者と協議しており、できるだけ早く

議員 鷹沢地区に冷房設備を令和6年度に設置したい。

市長 大規模な修繕計画はないが、真夏の避難に備えて、鷹沢地区に冷房設備を令和6年度に設置したい。

修繕はいつ 避難所の細倉公民館

市長／大規模な修繕は考えていない

修繕したい。

なお、公民館の出入口に安全ゲートを設置し、利用者が、危険箇所を避けて出入りできるようにしている。

議員 細倉公民館は、市が指定する避難場所にもなっており、調理室が使用できない状況である。

いつでも調理室を使えるよう、改修工事を急ぐべきではないか。

教育長 細倉公民館は、昭和43年に建築された建物であり、定期的に実施される「特殊建築物調査」により外壁の一部や内部の天井材などに不備があり、大規模な修繕が必要であると指摘されている。

議員 調理室の不備が指摘された時期はいつか。

教育長 令和3年度の調査によって、調理室の天井材が不燃材でないとの指摘を受けていた。



行政事業にメタバース活用を

市長／調査・研究を進めていく



うら 善浩 議員
み 三浦

議員 メタバース（仮想空間）を活用して市の事業に取り組んではどうか、以下の点について問う。①栗原市の魅力を発信し、観光PRをしてはどうか。②ひきこもり対策として、家に居

ながら参加できる「メタバース居場所」をつくらせてはどうか。③詐欺被害の防止のため、対応方法が体験できるようにしてはどうか。④将来的には、「メタバース市役所（総合支所）」を設け、窓口での相談や申請手続きができるようにしてはどうか。

で、栗原市の観光スポットをリアルに、いつでも体験でき、市の魅力をより身近に、より多くの人に伝えることが可能になると考えられ、バーチャル空間での体験や交流によって、観光誘客や観光消費につながることを期待される。今後、調査・研究を進めていきたい。



PRしたい栗原の観光

市長 ①メタバースを活用することで、インターネット上に構築された仮想空間上の居場所、交流や相談、学習などの活動を行う居場所支援モデル事業を実施している。宮城県がおこなっている事業の課題や方向性などを参考に調査・研究していく。③、④調査・研究していく。



たかはし 将 議員
高橋



国道沿いゴミ収集方法を改善せよ

市長／地元衛生組合などと協議を進める



ゴミ集積所。未設置の地域も存在

議員 クリーンセンターの過剰保管の解消予定は。①定期メンテナンスを秋冬に実施しているが、10月のトラブルで一時的な保管問題が生じた。年内に解消する予定である。

議員 減量化の取り組みとして家庭用生ごみ処理機の導入補助はどうか。屋外型コンポストは熊など野生動物の誘引のリスクがある。

市長 生ごみ処理機の導入効果については他市の事例を参考に導入検討を進める。

議員 国道上でのゴミ収集は交通を妨げる危険があるため改善を求める。

市長 交通障害は問題である。地元との協議を通じ収集方法の改善を進める。

議員 児童クラブおやつ提供改善を求む

議員 放課後児童クラブでのアレルギー対応が必要ない児童の状況は。

教育長 調査票と面談で詳細な情報を収集している。989人の児童が利用しており、うち332人にアレルギー対応が必要となる。

議員 アレルギー対応時のおやつに関する利用料の不公平感は改善されるか。

教育長 アレルギーを含む場合は持ち帰りを促しているが、利用料の返金はおこなっていない。事前におやつ情報を提供するなど保護者との情報共有を強化し、安全な提供に努める。

議員 おやつを市内の菓子店と協力するなど、地域を知る機会に活かさないか。

教育長 経費面で課題があると思うが、地元を大事にする発想だと捉え検討する。



おの 小野 久一 議員



大胆な支援で中山間地農業を守れ

市長／農地や農村環境の維持管理に支援



自己保全管理が増える中山間水田

議員 ①中山間地の水田は条件不利地が多いが農地中間管理事業は機能を発揮しているか。②市農業用揚水機場維持管理補助金交付にあたって、対象団体への案内に「令和4年度で廃止の予定だったが7年度まで継続することにした。今年度の補助率は、電気料金2万円以上5万円未満は21%、5万円以上10万円未満は28%、10万円以上は35%だったが、6年度以降は15%から25%の予定です」

(引き下げ)とあった。4年度の補助団体数、補助金総額はいくらか、なぜ7年度までと期限を決め補助率を引き下げるのか。農地や自然環境を守っている農家を支援するのが行政の仕事ではないか。期限を設定せず補助率を50%に引き上げるべきでないか。

市長 ①条件不利地では受け手がない場合が多く、管理機構のコーディネーターが改めて受け手を探している。②揚水機補助団体数は59件で総額352万7千円である。合併当初から3年の期限付きだったがその時々々の社会情勢に鑑(かん)が(み)期間延長を繰り返している。

補助率も同様であるが、電気料金等の物価高騰が続いており6年度は現在の補助率を維持したい。

議員 栗駒地区から2つの金融機関が撤退するが、金融難民・弱者への影響をどう捉えるか。ATMは六日町通りか、山の駅くりこま周辺がよいのではないか。
市長 市民生活への影響を懸念している。ATMは山の駅周辺を想定している。



すがわら 勇喜 議員

「旧町史」増補版発刊の進捗状況は

教育長／令和7年度以降の着手

議員 初めて質問した平成28年2月議会から7年10か月経過している。現市長は3人目である。平成30年2月議会、令和2年2月議会、佐藤智市長に変わった令和4年12月議会でも取り上げ、令和5年2月議会では「直ちに旧町村単位に編さん委員会を組織し具体化されるよう」求めた。8年近い間の、質問した時系列ごとの取り組み状況、現時点での到達状況、人的体制資料の収集状況、発刊の時期について、明らかにされたい。

教育長 平成28年2月議会後、各種資料の散逸防止を最優先に保存作業を行い、



50年～60年町史空白の両町

平成30年2月議会後は、資料収集の継続、金成庁舎への資料の集約保存を進めてきた。令和2年2月議会後は、担当職員2人を配置、現在は1人体制で、執筆に用いる資料の確認・検証作業を進めている。栗原市合併20周年記念誌の編さん最優先に進めていることから、令和7年度以降の着手となる。外部委託も視野に入れ、具体的な編さん手法を検討している。

発刊の時期は、一定期間の作業成果に基づき、見通せるものと考えている。

その他、「政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求めること」「高原駅前駐車場の管理」「帯状疱疹ワクチン接種費用助成、50歳以上、2回接種の場合2万円の助成」「衛生センター1汚泥肥料、有機センター1肥料の積極的な農地への利用」について質した。



官製談合防止対策の現状と今後

市長／法令遵守で再発防止に取り組み

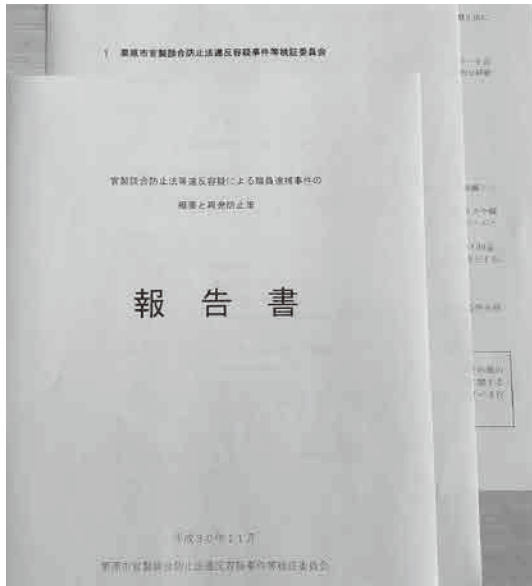


きくち ひろし 議員
菊地 広志

議員 栗原市では過去に残念な官製談合事件があり、今年には金成庁舎を舞台に贈収賄事件が起きた。市役所内部での官製談合防止対策はどの様になっているのか。職員への官製談合防止教育は毎年実施されているのか。

市長 栗原市官製談合防止法違反容疑事件等検証委員会からの報告を受け、公共工事等入札監視委員会を設置し対応している。事件後全職員を対象に、コンピュータアセス研修を実施し、再発防止に取り組んでいる。

議員 市役所や支所、病院や保育所、学校など市の施設内で、職員間のハラスメントの問題や相談は無いのか。ハラスメントの事実や被害を見たり聞いたりした



検証委員会での再発防止策報告書

際の対応と、相談窓口や相談体制は整っているのか。
市長 「栗原市職員のハラスメントの防止等に関する要綱」を制定し、相談窓口の設置や他部局の担当者に相談できる体制を整え、安心して働ける職場環境に努めている。被害実態や相談の有無は回答を差し控える。
議員 市の観光と物産の方向性について、当時の答弁にある栗原市観光戦略会議は設置されたのか。他市町との広域連携は進んでいるのか。観光振興ビジョンに掲げる、観光と物産の振興と活性化は進んでいるのか。
市長 栗原市観光戦略会議は令和5年9月に設置。稼げる観光地を目指し推進中である。※栗登一平4市町連携でイベントの相互開催など施策に取り組んでいる。今後も観光団体や事業者と連携し、観光と物産振興を図る。

木材搬出で道路損傷、市の対応は

市長／伐採届出時に、道路保護など助言



たかはし かつお 議員
高橋 勝男



木材搬出などで傷んだ市道薬水線（栗駒）

議員 木材の搬出で道路が傷んでいる。搬出ルートはどう決められているのか。
市長 搬出ルートについては、市への提出義務がない事から、事業者の判断で、安全に行われていると思う。
議員 木の切り出し運搬等を起因とする市道薬水線（栗駒）および林道の補修について、事業者と協議が行われているが、内容について聞く。

市長 令和5年6月に地元区長から道路損傷の相談があり、現地を確認し、調査した結果、経年劣化と共に木の切り出し運搬が原因と考えられた事から、作業事業者と状況確認を行い、市で補修する部分と事業者が補修する部分の整理を行い市の負担は50万円になる。
議員 鉄板を敷いている箇所もあるが、搬出作業開始前に行うのではなく、地域からの苦情や道路が傷んだ後に行われている。切り出し運搬業者の安全確保と市の財産である道路を守る観点から、事前協議や助言が必要と考える。
市長 現行制度では、搬出ルートの届出義務や道路管理者との協議は不要となっているが、今後は、伐採届出などがあった場合には、市の道路担当部局と協議を行うよう促し、必要に応じて道路の保護を行うなどの助言をおこなっていく。
議員 美里町が進める汚染牧草などの廃棄物保管農家への協力を栗原市も行うべきではないか。
市長 保管農家に協力を支払うことができるよう、県や関係自治体と連携して東京電力と協議していく。



佐々木 嘉郎 議員



災害のない地域づくりを

市長／河川管理者と協議していく



堤防より低い鉄道の鉄橋

議員 瀬峰泉谷・野沢地区を流れる萱刈川堤防は東北本線鉄橋の橋桁より低い。少しの雨で水害になる。

市長 鉄道を守る意味合いがあるようだが、水害の起きない堤防を要望したい。

議員 萱刈川堤防より線路を高くするよう働きかけてほしい。住民の要望だ。

市長 早く川水が海に流れるといいのだが、蕪栗沼で水がとどまっているようである。治水全体を考え、国県に要望していきたい。

議員 瀬峰上富地区を流れる小山田川左岸堤防には、無堤防の霞堤がある。わずか70ミリの降雨で水田や県道が冠水する。築堤し、水門排水機場をつくるべきだと思いがどうか。

市長 この地区の治水について県に要請している。具体的な対策を検討したい。

議員 五輪堂山公園西側の瀬峰川に架かる鉄橋は堤防や農道九反線より低い。早く対策を取るべきでは。

市長 現場を見て難しい地形と感ずる。JRや河川管理者と協議していきたい。

議員 蕪栗沼遊水地群ができて、1回もしゅんせつすることもなく、陸地化が進んでいることに問題があるのではないか。

市長 蕪栗沼はだいぶ浅くなっている。関連する周辺市町村と連携を取りながら調査、研究をしていく。ラムサール条約の件もあるが、自然保護と人の生活との共生を考え、要望などをする。

議員 越流しても壊れない堤防にすべきでは。

市長 県は法令により土堤整備をすると話している。



第3次栗原市行政改革大綱を問う

市長／スピード感を持って対応する



黒木 一孝 議員



多額の経費がかかるジオパーク

議員 指定管理者制度導入で入館料や施設を活用した団体からの料金収入で経費節減を図るとあるが、どれだけの削減が図られるのか。

市長 栗駒山麓ジオパークは年間4400万円の経費が必要であり、国の補助金400万円を引くと400万円の経費が必要であり、経費削減のため、入館料が必要である。

議員 みちのく風土館の年間維持経費は131万円で、あるが、利活用のない場合は、閉鎖も考えるべきと思いがどうか。

市長 利用がなければ、廃止も検討する必要がある。

議員 大崎市長は大衡村への半導体工場立地で東北一円が計り知れない効果を期待できると話しているが、栗原市でも工業団地や住宅団地の整備に取り組みべきと思いがどうか。

市長 新たな工業団地の造成も必要と感ずるため調査に取り組み。

議員 栗駒キャンプ場建設は、一部の有志が要望したと灰聞するが、簡単に一大プロジェクトができるものなのか。

市長 「地域資源を生かし、交流人口の拡大を目指す」取り組みとして進めている。

議員 栗駒三迫河川公園内のパークゴルフ場に堤防から下る階段があるが、手すりの設置を求めるとどうか。

市長 河川管理者である宮城県と協議し、利用者の声を伺いながら、検討する。



電気料を返還すべきでは

市長／利用者負担で返還は考えていない



五十嵐 勇 議員

議員 ①大釜機関場の老朽に伴い、組合から令和元年に市へ更新助成要望書が提出されたが、該当しなかった。今回、市の工事費として更新が完了した。その変更理由と経緯を問う。②合



市（所有者）が建て替える

併から令和4年までの利用者が支払った電気料はいくらか。③今回、市の調査で市の財産と認定されたことから、今までの電気料金を全額返還と建物の建て替えをすべきと思うがどうか。

市長 ①旧ポンプは水田所有者が設置したこと、更新を行うには市の補助制度を活用してほしいと回答した。その後、令和4年に小軽部用水路改修とポンプ更新の要望書が提出される必要、費用対効果などの検討をし、地域の農業経営の維持の観点からポンプは市で設置、今後の維持管理は、従来通り地元で管理することとした。②145万5000円で利用者が支払っている。③揚水機場は特定された受益への揚水であり、安定した農業経営を支援するための施設であることから電気料については、利用組合で負担することは当然で、了承されている。建て替えについては、組合負担で実施していく。

公正、透明性を高めよ

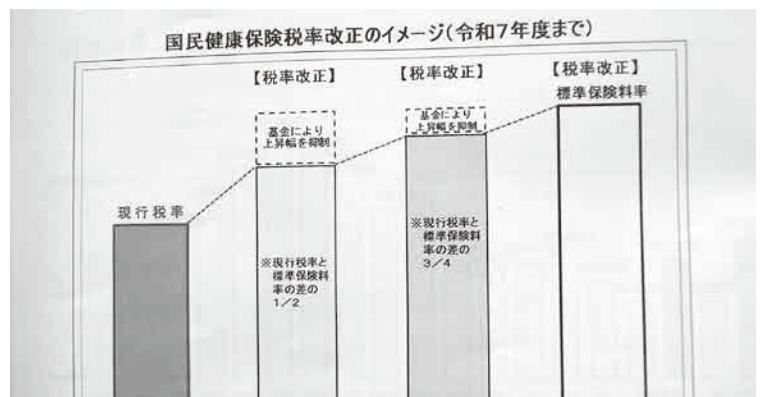
議員 事業実施は公正、透明性を高め、対処すべきと思うがどうか。
市長 限られた予算で必要性、緊急性を考慮し、各総合支所と調整を図りながら事業実施箇所を決めている。

「国保税」の引き上げをやめよ

市長／赤字補てんは他市町村に迷惑



佐藤 文男 議員



税率改正の説明資料

議員 国民健康保険税(国保税)の税率改正は令和5年度に15・42%の引き上げが行われ、今後も、令和7年度まで段階的に引き上げ、県の標準保険料率までの引き上げが計画されている。これまで、一般会計から2億円の法定外繰り入れを行うなど、被保険者の負担軽減に努力を図ってきたことに対して評価するものだが、コロナ禍に加え、今、円安物価高が市民の生活を

直撃している。このまま計画どおり税の引き上げが行われれば、被保険者の担税力は越えてしまう。令和6年度も引き上げの計画だが一般会計から繰り入れし、引き上げをやめるべきと思うが。
市長 保険税の収入不足を補う目的で一般会計からの補てんをおこなった場合、市町村へ交付される保険給付費など交付金の特別交付金が減額される仕組みが導入されている。主体となつて県全体を一つの財政単位として運営されていることから、県内1団体でも一般会計から補てん行為をおこなった場合、国からの交付金も減額され、他市町村に迷惑をかける可能性が高いことから法定外繰り入れはできない。
議員 各自治体は、住民のためを思い繰り入れをおこなっているのに、法定外繰り入れができないということだが方法はないのか。
市長 現段階では難しい。その他の質問、「公共交通タクシー助成について」「高齢者の補聴器購入助成について」

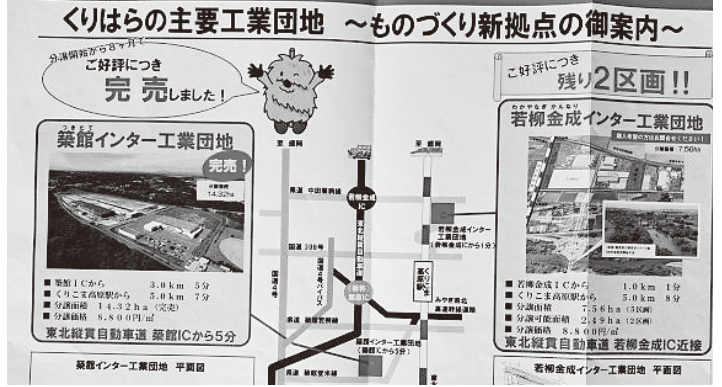


おがた かつゆき 尾形 勝通 議員



今こそ企業誘致に乗り出すとき

市長／魅力ある立地環境をPRする



くりはらの工業団地

議員 台湾の大手半導体メーカー（PSMC）は、県の北部工業団地（大衡村）に半導体の工場を建設する計画を発表した。投資額は8000億円、従業員数は1200人で地域経済への波及効果は大きい。車の半導体を生産する。市内には、高清水の豊田合成東日本などの自動車関連企業が多く立地し、半導体関連のDGTテクノロジーも立地する。新工場は、多くの半導体関連企業を必要とす

るが、有利な条件にある栗原市に関連企業を誘致する時は今ではないかと思うがどうか。

市長 当工場の立地計画では、さらに増設が予定され、それに連動したサプライチェーンが必要である。栗原には、半導体関連と自動車関連工場が多くあり、立地の優位性をPRし、トップセールスにより積極的な企業誘致を展開していく。

議員 優良種牛の地域内還元、この種を未来に還元させていく生産と販売、これが栗原畜産の強みと評価する。しかし今、畜産農家の嘆きの声が聞こえる。畜産農家の窮状を救うため、①飼料高騰対策支援の2弾目を実施。②JAが推進するヘルパー委託料に助成を。③発情発見や畜産事故を無くすICT機器への助成を。

市長 持続可能な畜産経営のために市としてどんな支援が可能か検討する。ICT導入は、市の誘致企業の太平洋工業が、体調モニタリングシステムを開発しており、次年度よりこれを活用した新しいモデル事業に取り組み予定である。



早期改修が望まれる水路



か 鹿野 よしき 芳幸 議員



「地域の声」届いているか

市長／多くの皆さんの声を伺っている

議員 台風や、集中豪雨などの度に住家への床上、床下浸水する隣接の水路改修の優先順位の考え方は。

市長 被災状況や被災原因を確認し、整備内容を検討

してこれまでも優先的に水路整備などを行い、浸水対策を図ってきた。

議員 合併前から、こうした課題を抱えている地域が多く存在している。地域の道水路の改修を早期に取り組むことはできないか。

市長 浸水の発生原因が多様多様なことや、地形的な問題などで早期に解決できない箇所もあるが、緊急性

などを考慮し、早急に対応していく。

議員 生活道路の維持補修については、市民の最優先要望と想っている。予算の組み替えや増額を検討し、早期整備に努めるべきではないか。

市長 今後も、緊急性、必要性などのほか、財政状況も考慮しながら、広く地域にサービスマンが行き渡るよう計画的に取り組んでいく。

議員 毎年のように市民の身近な要望について不満の声も聞かれる。地域の声、市民の声は届いているか。

市長 「いどう市長室」をはじめ、行政区長との懇談会のほか、各種団体との交流イベントでより多くの皆さんの声を伺っている。今後も皆さんの声をしっかりと受け止め、市民に寄り添った市政運営に努めていく。

他に地域公共交通、山王史跡公園の管理と整備について質問した。

意見書

政府関係機関に来年度（令和6年度）の年金改定では、物価の高騰に見合った年金額の引き上げを求める

12月定例議会では、1件の議員発議により、意見書が提出されました。審議の結果、賛成多数で可決し、意見書を関係機関に提出しました。
（要約して掲載）

令和5年度の公的年金の改定は、物価変動率の2.5%に届かない1.9%でした。高齢者の消費は、食料品をはじめ生活必需品が中心です。生活必需品の異常な高騰は高齢者の暮らしをかつてなく厳しいものにしていくのが実態です。

こうした物価高騰の中で高齢者の暮らしを維持する施策として、次の事項を実施されますことを要望致します。

1、物価の高騰に見合った年金引き上げの措置を講じていただきたい。

討論

反対 高橋 将議員

年金制度は将来の高齢者である現役世代にもかかわるため、年金額の引き上げは長期的な財政健全性と影響を考慮すべき。他市の意見書にも明記されているように年金額の算定における現役世代の負担率の維持や改善を含めた、バランスの取れた内容へ修正が必要だ。

賛成 佐藤 文男議員

生鮮食料品の値上がりは平均で10%も上昇している。年金法では「この法律による年金の額は、国民の生活水準その他の諸事情に著しい変動が生じた場合速やかに改定の措置を講ぜられなければならない」としている。この法に従い高齢者の暮らしを守るべきだ。

「賛成」・「反対」の一覧表

件名	議員氏名	採 決 結 果																						
		鹿野 芳幸	佐藤 久義	佐々木嘉郎	佐藤 勇	三塚 東	高橋 義雄	小野 久一	菊地 広志	高橋 勝男	相馬 勝義	阿部 貞光	高橋 将	佐藤 悟	佐藤 文男	佐藤 千昭	石川 正運	五十嵐 勇	菅原 麻紀	三浦 善浩	尾形 勝通	菅原 勇喜	濁沼 一孝	高橋 涉
政府関係機関に来年度（令和6年度）の年金改定では、物価の高騰に見合った年金額の引き上げを求める意見書について	可決	賛	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	反	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	一

※「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒反対した議員、「一」⇒議長のため表決に加わらない

決議

ガザ地区における戦闘行為の即時停止と平和の実現を求める
（要約して掲載）

「核兵器廃絶平和都市宣言」を決議している本市議会は、ガザ地区で起きている事態に重大な危惧を覚え、国連総会決議および国連安全保障理事会決議を踏まえ、即時停戦と平和の実現のため、関係各国および国際社会が最大の努力を尽くすことを求める。

なお、この決議は議員全員が賛成しました。

陳情

12月定例議会に5件の陳情が提出されました。

（敬称略）
「民法第216条 水流に関する工作物の修繕等」に関する陳情

菅原 正喜

宮城県春闘共闘会議
代表幹事 高橋 正行

令和6年度税制改正に関する提言について

一般社団法人
宮城県法人会連合会
会長 菅原 裕典
ほか1人

政府関係機関に来年度（令和6年度）の年金改定では、物価の高騰に見合った年金額引き上げを求める意見書提出を求める陳情書

全日本年金者組合
宮城県本部
執行委員長 芳賀 芳昭

年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

小坪 慎也

ご近所付き合いを

大切にして

民生委員・児童委員を引き継いで1年。まだまだ駆け出しですが、この1年で、地域生活は「ご近所付き合ひ」が基盤であることを改めて感じています。高齢者世帯の方の見守りに何うと、その生活を支えているのは、ご近所さんからの声掛けや助けです。情報提供や、草刈り、雪かき、修繕、おすそ分けなど、近所間のつながりがどんなに心強いかが、会話の端々から伝わってきます。時には、おせっかいと受け止められることでも、周囲からの気付きがあつてこそ、解決につながることもあります。そして、万が一に災害が発生した際にも、ご近所間の助け合いが一番になるはず。私も地域の中に根を張って、ご近所付き合ひをしていきたいと思っております。



菅原 容子さん
(志波姫)

私もひとこと



若林 壮さん
(花山)

花山暮らしを始めて

東京から花山へ移住して間もなく4年になろうとしています。田舎暮らしを始めてみると、自然環境が良く、季節を感じながら充実した日々を送っています。地域の方々の優しさや面倒見の良さに助けられ、家族で元気に過ごしています。そんな花山や栗原をもっと知ってもらい、訪ねてもらえたらいいな、と思うようになり、自分で旅行の仕事を始めることにしました。栗原を訪ねる方へ、地域の方々と一緒に、地元でもっと知ってほしいことや自慢のもの、素晴らしいを紹介して楽しんでくれたらと思います。来てもらうことを旅行の仕事の一つにしました。でも知らないうちはかりなので、いろいろなところを巡ってもっと経験つて、栗原のことを知ってほしいです。

あとがき

先日、栗駒山麓にあるハイルザーム栗駒に行ってみました。例年だと2日程度の積雪の所わずか10センチしか無かったです。異常な気候を実感し、怖くなりました。

議会だより第80号の編集作業中、能登半島で地震が発生した。本市は16年前の内陸地震、13年前の東日本大震災があり、全国から多くの支援に助けられてきた改めて日本全体での絆の有り難さに感謝しかない。ガンバレ能登の人たち。編集をしながら、どんな支援をすべきか考えていた。

発行責任者

議長 高橋 渉

広報編集調査特別委員会

- 委員長 三塚 東
- 副委員長 菅原 紀
- 委員 菅原 麻
- 委員 佐々木 嘉
- 委員 小野 一郎
- 委員 菊地 久
- 委員 高橋 志
- 委員 佐藤 悟
- 委員 三浦 善
- 委員 菅原 勇

